

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校

平成29年7月5日発行

No. 5



文責：校長 野口 裕

教材園がきれいになりました！

～緑の会の皆様のご協力で～



6月24日（土）8時から「NPO 法人 緑の会 羽津」の田中理事長はじめ13名の会員の方に来ていただき、東門を入ってすぐにある「教材園」の草刈りと剪定をしていただきました。

この4月に羽津北小学校に来た時から、気になっていた所でしたのでとても助かりました。当日は、皆さんの手際のいい作業により、すっきりとした姿に見事に蘇らせていただきました。うっそうと茂っていた草や枝を切り、フェンスの向こうまで覗き見るができます。防犯上も大変気になっていた所でしたが、

これからは、子どもたちの憩いの場として、また、名前の通り子どもたちの学習の教材として、大いに活用していきたいと思います。保護者の皆様も来校された時には是非ご覧ください。

「緑の会」の皆さん、本当にありがとうございました。

第2回 元気バクハツけやきっ子集会

～2年生のすてきな発表と児童会の劇やゲーム～



6月28日の5限目、体育館で第2回元気バクハツけやきっ子集会（児童集会）が行われました。この日は、2年生の発表があり、詩の暗唱『雨のうた』・みんなであたおう『世界中の子どもたちが』を全員で元気よく発表してくれました。入場から退場し終わるまでを、いい緊張感を持ちながら見事にやり遂げることができました。2年生の先生方の丁寧な指導もあってのことですが、4月に比べ、ずいぶん成長した子どもたちの姿を見ることができ、すてきな時間を過ごすことができました。

その後、保健委員会・目標担当からの劇、募金担当からの連絡と続き、レクリエーション、今



月のうたの合唱まで、児童会の子どもたちによる司会進行、工夫された発表、盛り上がる演出であつという間に時間が過ぎてしまいました。改めてこの集会で全校児童が楽しく過ごせるために、準備をしてくれた児童会の子どもたちの努力に感謝したいと思います。

すてきな集会をありがとうございました。

個人懇談会 ～18日・19日 よろしくお願いします～

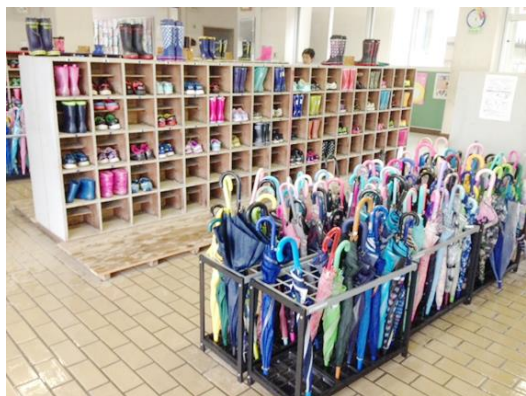
お忙しい中、個人懇談会、よろしくお願いします。学校でのお子様の学習・生活の様子を担当からしっかりと聞いていただくとともに、ご家庭での様子も伝えていただくことで、学校と家庭との連携を深め、より意義深い懇談会になればと思っています。

さて、当日お渡しする連絡表の見方についてですが、連絡表は、学校におけるお子さんの学習活動・特別活動などの状況をご家庭にお知らせし、その後の学習の支援や生活の改善に生かすために作成しています。

ご家庭におかれましても、教科の成績だけにとらわれることなく、行動の様子等も含め、全体的にご覧いただき、少しでも伸びた部分があれば積極的にほめ、課題があれば一緒に解決できるよう努力していただきたいと思います。ご家庭での適切なご指導をどうかよろしくお願いいたします。



こんなところも… ～学校へお越しの際は、是非ご覧ください～



『学校に来ていただいた時には、お子さんの下駄箱（雨天時は傘立ても）の靴をご覧ください。左の写真は、ある雨の日の登校後の下駄箱の様子です。ほとんどの靴（長靴）や傘がきちんと整えられています。

「荒れ」や「乱れ」は足下から表れます。自分の履物を、いつでも、どこでも、きちんと整えられる人は、何より心が整っている人です。もちろん、家庭でも同様です。』と書ければ良かったのですが、現実はその甘くありません。特に雨の日は、とても大変です。しかし、4月に比べれば低学年の子どもたちも、自分た

ちでずいぶんできるようになってきました。

では、なぜ写真のように整えられていたのでしょうか？

実は6年生の児童たちが低学年の子どもたちを助けてくれていたのです。特に係の仕事として行っていたわけではなく、自然に「当たり前」のことが「当たり前」にできていたのです。朝から挨拶をしてくれる子どもたちの爽やかな笑顔と、このような素敵な場面を見ることができ、この日はあいにくの雨天でしたが、とても気持ちよく1日をスタートすることができました。

私事で申し訳ありません… ～周りの気遣いに感謝・感謝です～

29日の朝、いつものように朝の挨拶をするために児童昇降口へ急いだのですが、自分では確実にさな板の上に足を置いたつもりが踏み外してしまい、右足首をひねってしまいました。痛みをこらえながら子どもたちを出迎え、職員室へ戻ろうとした時、ふと右足を見ると思いのほか腫れ上がっているではありませんか。養護の先生にも病院へ行くようと言われ、病院で診察を受けました。「右足首靱帯断絶・全治3週間」との診断。当分は松葉づえで歩行することになりそうです。先生方や子どもたちには「大丈夫ですか」「荷物持ちましょうか」「お大事に」と声をかけてもらい、周りの人たちの温かさに感謝するばかりです。先生方や子どもたちそして保護者の皆様にもいろいろとご迷惑をおかけすることになるかもしれませんがよろしくお願いします。

